

< 随筆 >

蓮の寺（稲泉寺）の大葉菩提樹

大 平 仁 一 *

Tilia maximowiczana in Inaizumi Dera, the temple of the lotus.

Jinichi OHIRA

曇り空で少し青空の見える今日、時々お世話になっている看護師さんと5名で稲泉寺に蓮を見に行く事にした。約1,000坪にみごとに蓮が咲き、ピンク色でした。北側にはこちら大賀蓮ですと書かれていた。この寺の住職は私にとって思い出の人で、小学校の同級生でした。ほかの見学者も多くいた。寺の松ノ木もすばらしい、また石段もきれいで、看護師さんが私を石段に車椅子を引いて登ってくれた。石段の横の葉を見て 大平さん シラネアオイみたいね、と言った。私は看護

士さん、あれ秋明菊ですよ と言って教えた。石段を登りきるとそこに幹周り1 m30cmもある大葉菩提樹がみごとな黄色の花が咲きすばらしい光景でした。私はその大木のそばでお釈迦様の心になって花を眺めていると心豊かになりました。そしていつか私も、蓮のように泥から生まれてもあの美しい花を咲かせるような人間になりたいと思いつつ稲泉寺をあとにした。この稲泉寺は木島平村にあります。

* 大平仁一 〒389-2322 飯山市大字瑞穂1166-9

< 随筆 >

山シャクヤクの育成と種の色

大 平 仁 一*

Breeding and seed color of a mountain peony, *Paeonia japonica*.

Jinichi OHIRA

2000年の春、木島平の山奥へ野草の写真を撮りに出かけ、標高600m ぐらいの雑木林の中の、木の切り株のそばに山シャクヤクが咲いていた。少し離れた所にもう一本咲いていた。白くてすばらしく美しく、あたりの緑の中で目立った。その年の秋早めにその場所へ心はずませ出かけた、なかなかわからないやっと思つて、種子になっていた、色は赤と青が混じっていた。私は2本の種子を採り家で和紙の上で7日間干した。11月末日その種を蒔いた2つの鉢は大切に畑の中に置いた。2001年には2枚葉が8 cm ぐらいに伸び、2003年は15cm に伸び、花は無かったが、2004年私は脳梗

塞で5月に入院してしまい、山シャクヤクのことは頭から離れてしまった。そして其の年の11月退院して冬が過ぎ、2005年6月に妻が鉢を家の中に持ってきた。山シャクヤクが白っぽいつぼみを付けていた。父ちゃんきれいだね、妻はなにも解からないまま きれいきれいと言った。私が種から育てたかわいい花、車椅子の私は心がおどった。そんなある日、宅老所の人が迎えに来て一目見て いいね、と言いつつデジカメで写してくれた。2つの鉢が揃って咲き私に感動を与えてくれた。

山シャクヤク——*Paeonia Japonica*

* 大平仁一 〒389-2322 飯山市大字瑞穂1166-9

< 随筆 >

山ゆりの群生地に会う

大 平 仁 一 *

Wild lilies on Mt. Nabekura.

Jinichi OHIRA

鍋倉山へ3年前5回出かけました。「タムシバ」の花に魅せられてのことで、タムシバと「鍋倉ザゼン草」そして「ツチアケビ」と「コケイラン」を写しに行ったのです。その時、川の苔の上にアズマシロガネソウが咲いていました。そして樺林に足を踏み入れた。そこは私が大切にしている自然、林の愛する植物園なのである。そこは「マルバダケブキ」の群生地、そばの川のきれいなことで私の心を癒してくれ、この川の下流には「シラネアオイ」の花園がある場所です。

午後、東の山へ入って足の運動に神戸山や万佛山へ。雑木林を歩きながら春蘭の葉を見ながら登る。所々に一本ゆりの咲く癒しの道であり、時々枯葉にドングリが顔を出していた。そろそろと思い歩くと山ユリの群生地に合いました。まだ5、6本はつぼみでした。香りが強い、すばらしい純白で私は心を洗われる気持ちでこの花によいしれた。ここに植物研究会をおかりして写真をカラーで載せました。



* 大平仁一 〒389-2322 飯山市大字瑞穂1166-9